

平成30年度当初予算編成方針

【基本的な考え方】

(1) 事業の選択と集中

- ・来年度は「国体・障スポ」の開催年度であり、多くの職員と財源が必要となることから、より徹底した事業のスクラップ&ビルドを実施
- ・現場主義の観点から実際のニーズとデータを把握し、既存施策との関係性を整理したうえでの施策の立案

(2) 市町・民間との共働の強化

- ・「高速交通開通アクション・プログラム」や「ふくい創生・人口減少対策戦略」などに掲げる重要施策を進めるため、市町・民間と十分な協議、情報交換を行い、一体となった施策を実施

(3) 国の予算編成への的確な対応と行財政改革の継続実行

- ・国の予算編成の動向について情報収集・分析を徹底し、的確に予算要求に反映
- ・「第四次行財政改革実行プラン」（平成27～30年度）の確実な実行と中・長期的な健全財政の維持

【重点施策】

(1) 「福井ふるさと元気宣言」の着実な実行

- ・「福井ふるさと元気宣言」の最終年度にあたり、4つのビジョンにおける目標達成および新たな政策課題への対応

(2) 県民総参加による「国体・障スポ」の成功

- ・県民の力を総結集した「国体・障スポ」の円滑な運営
- ・来県者が福井をより楽しむことができるよう、「おもてなし」の充実と魅力の発信

(3) 高速交通体系の整備促進と交流新時代への対応

- ・北陸新幹線、中部縦貫自動車道等の整備促進と二次交通の拡充
- ・観光誘客・まちづくりによる交流人口の拡大
- ・北陸新幹線敦賀開業や大阪開業に向けた若狭湾エリアの新たな地域振興

(4) ふくい創生・人口減少対策の強化

- ・「幸福度日本一」の実感向上につなげる基盤強化と未来への投資
- ・人口減少・高齢社会に適応した元気な地域づくり、シニアの活躍支援

【シーリングの設定】

- (1) 経常的経費（標準外経費） 90%以内
- (2) 政策的経費 90%以内
- (3) 投資的経費 国の予算や地方財政計画等を踏まえ、予算編成時に決定